

補助156号線沿道周辺地区 まちづくりについて



令和5年7月8日（土）、9日（日）
練馬区西部地域まちづくり課

本日の説明項目

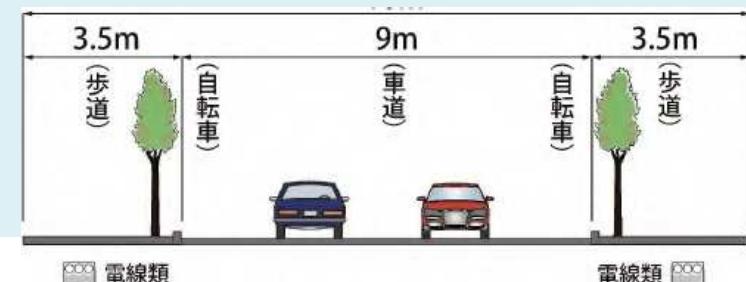
- ◆ まちづくりの背景
- ◆ 補助156号線沿道周辺地区重点地区まちづくり計画
(案)
 - 1 本計画の対象区域
 - 2 地区の現状と課題
 - 3 まちづくりのコンセプト
 - 4 まちづくりの方針
 - 5 まちづくりの実現に向けて

◆まちづくりの背景

◆まちづくりの背景

現在、補助156号線の整備が
東京都により進められている

補助156号線の整備イメージ



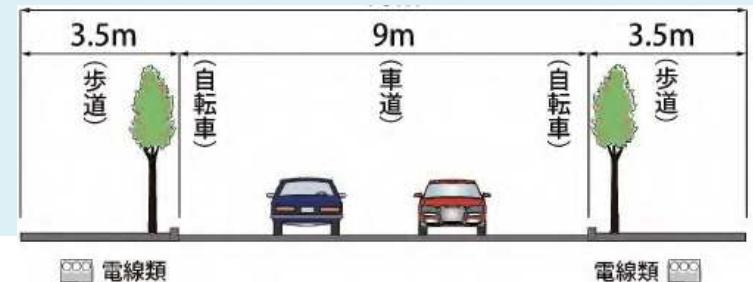
◆まちづくりの背景

補助156号線の事業区間（事業期間：令和3年度～令和15年度）



◆まちづくりの背景

現在、補助156号線の整備が
東京都により進められている
補助156号線の整備イメージ



補助156号線整備で沿道の土地利用の変化が予想される

◆まちづくりの背景

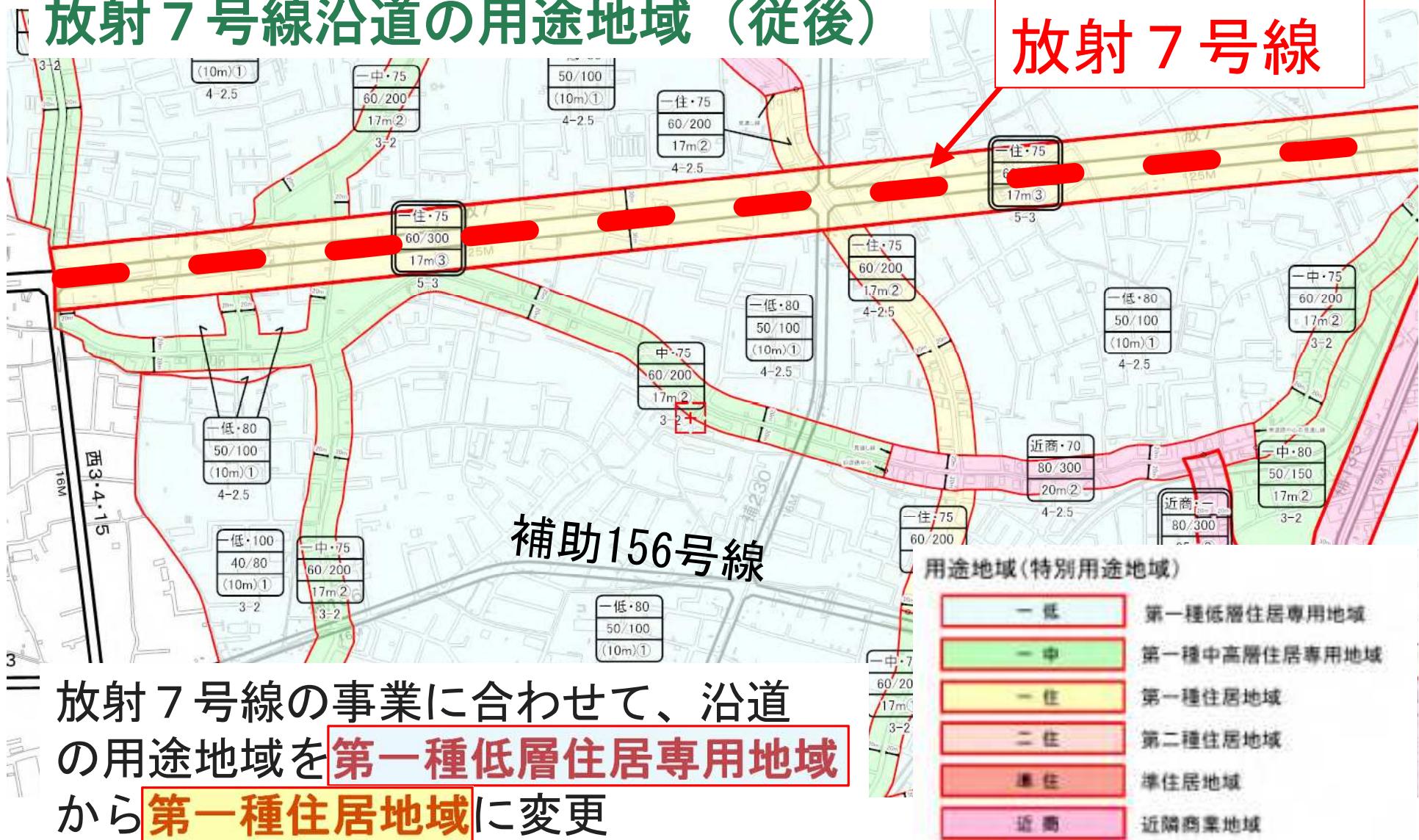
放射7号線沿道の用途地域（従前）



◆まちづくりの背景

放射7号線沿道の用途地域（従後）

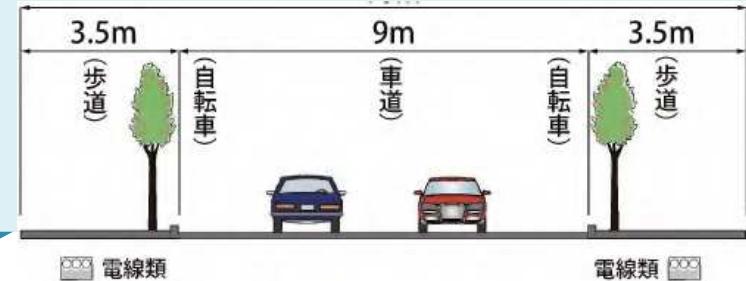
放射7号線



◆まちづくりの背景

現在、補助156号線の整備が
東京都により進められている

補助156号線の整備イメージ



補助156号線整備で沿道の土地利用の変化が予想される

補助156号線沿道とその周辺も含めた一体的なまちづくりを進める必要がある

まちの将来像やまちづくりの方向性などを検討

◆まちづくりの背景



令和
元年

地域住民で構成される「補助156号線沿道周辺地区
まちづくり協議会」設立
→令和3年10月までに10回の協議会を開催



令和
3年10月

協議会が「補助156号線沿道周辺地区まちづくり提
言書」を策定、練馬区に提出



令和
4年11月

練馬区が「重点地区まちづくり計画(素案)」
を作成



令和
5年1月

「重点地区まちづくり計画(素案)」説明会を開催



令和
5年3月

練馬区都市計画審議会部会の意見聴取



令和
5年6月

「重点地区まちづくり計画（案）」を作成

◆まちづくりの背景

重点地区まちづくり計画とは

- 練馬区まちづくり条例に基づき定める計画
- 区が住民の皆様と協力しながら、具体的なまちづくりに取り組む際の方針を示すもの
- この計画によって、新たに土地・建物等の権利の制限が加わるものではありません

◆補助156号線沿道周辺地区重点
地区まちづくり計画（案）

1 本計画の対象区域

1 本計画の対象区域

東大泉四丁目の一部、西大泉一丁目の一部、
南大泉五丁目、南大泉六丁目で構成される約85.6ha



2 地区の現状と課題

2 地区の現状と課題



- 補助156号線の整備に合わせ、まちの利便性向上に資する土地利用を誘導



- 現在のみどり豊かでゆとりある住環境の保全



- 南北方向を中心とした安全で円滑な交通環境の形成



- 地震や集中豪雨など、災害時への対策



3 まちづくりのコンセプト

3 まちづくりのコンセプト



4 まちづくりの方針

4 まちづくりの方針

目指すまちの姿

補助156号線沿道の利便性と
周辺環境が調和したまち

みどり豊かで落ち着いたまち

安全・安心で災害に強いまち

4 まちづくりの方針

補助156号線沿道の利便性と周辺環境が調和したまち



4 まちづくりの方針

補助156号線沿道の利便性と周辺環境が調和したまち

後背住宅地の住環境に配慮した
中層の住宅
生活の利便性を高める施設や店舗等
が立地する土地利用を図る

4 まちづくりの方針

補助156号線沿道の利便性と周辺環境が調和したまち

中層の建物



スーパー
なども立地



補助156号線沿道のイメージ

4 まちづくりの方針

目指すまちの姿

補助156号線沿道の利便性と
周辺環境が調和したまち

みどり豊かで落ち着いたまち

安全・安心で災害に強いまち

4 まちづくりの方針

みどり豊かで落ち着いたまち

- 農地・公園は、憩い・交流・防災空間などの貴重な資源として保全・活用する
- 補助156号線においてみどりを感じられる歩行空間づくりを進める
- 白子川沿いでは、公園や緑地などみどりの創出や親水空間の整備、地域の魅力を高める景観づくりに取り組む
- 建物の建替えなどに合わせて、敷地内の緑化を促進する

4 まちづくりの方針

みどり豊かで落ち着いたまち



ブルーベリー農園での摘み取り体験

4 まちづくりの方針

みどり豊かで落ち着いたまち

- 農地・公園は、憩い・交流・防災空間などの貴重な資源として保全・活用する
- 補助156号線においてみどりを感じられる歩行空間づくりを進める
- 白子川沿いでは、公園や緑地などみどりの創出や親水空間の整備、地域の魅力を高める景観づくりに取り組む
- 建物の建替えなどに合わせて、敷地内の緑化を促進する

4 まちづくりの方針

みどり豊かで落ち着いたまち



(西東京市下保谷 西3・4・13号線)
歩行空間の緑化のイメージ

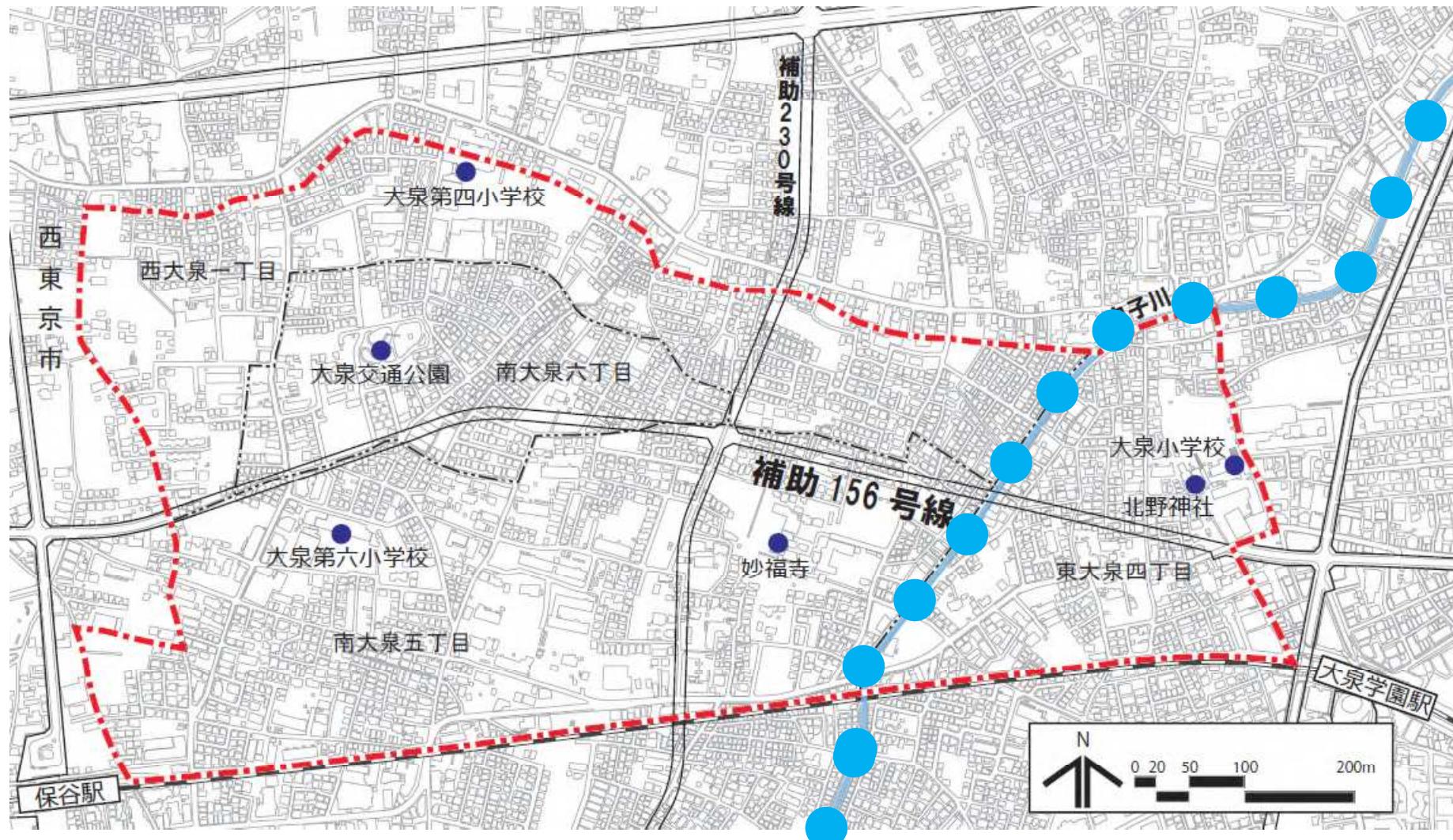
4 まちづくりの方針

みどり豊かで落ち着いたまち

- 農地・公園は、憩い・交流・防災空間などの貴重な資源として保全・活用する
- 補助156号線においてみどりを感じられる歩行空間づくりを進める
- 白子川沿いでは、公園や緑地などみどりの創出や親水空間の整備、地域の魅力を高める景観づくりに取り組む
- 建物の建替えなどに合わせて、敷地内の緑化を促進する

4 まちづくりの方針

白子川の位置図



4 まちづくりの方針



4 まちづくりの方針

みどり豊かで落ち着いたまち



河川空間・沿川の緑化のイメージ

4 まちづくりの方針



4 まちづくりの方針



白子川の工事ヤード

4 まちづくりの方針



4 まちづくりの方針

みどり豊かで落ち着いたまち

- 農地・公園は、憩い・交流・防災空間などの貴重な資源として保全・活用する
- 補助156号線においてみどりを感じられる歩行空間づくりを進める
- 白子川沿いでは、公園や緑地などみどりの創出や親水空間の整備、地域の魅力を高める景観づくりに取り組む
- 建物の建替えなどに合わせて、**敷地内の緑化**を促進する

4 まちづくりの方針

みどり豊かで落ち着いたまち



敷地内緑化のイメージ

4 まちづくりの方針

目指すまちの姿

補助156号線沿道の利便性と
周辺環境が調和したまち

みどり豊かで落ち着いたまち

安全・安心で災害に強いまち

4 まちづくりの方針

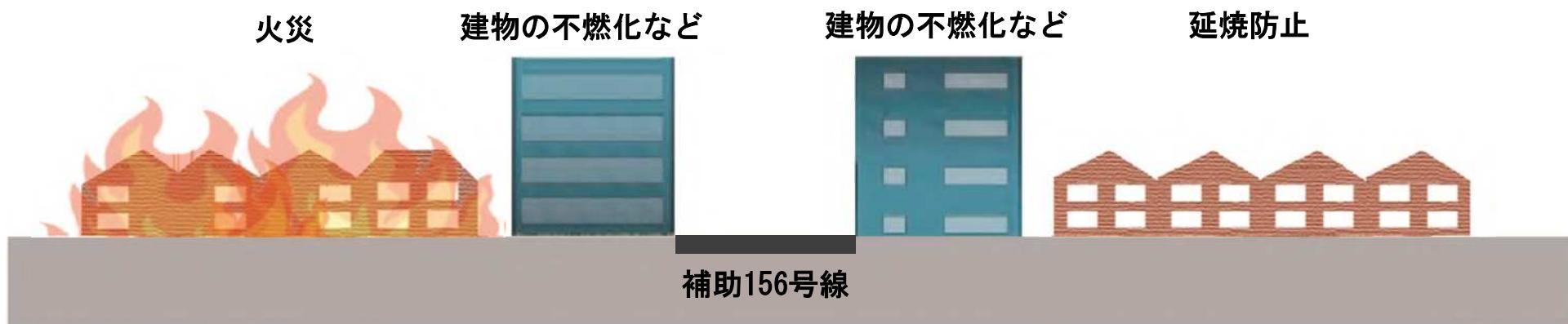
安全・安心で災害に強いまち

- 補助156号線の沿道では、建物の不燃化により、**延焼遮断機能の形成**を図る
- 一定幅員の確保など道路ネットワークの充実を図る
- 危険な踏切付近の道路について早期改善に向けて拡幅整備に取り組む
- 地震発生時などに倒壊の危険がある高いブロック塀等を減らし、低い塀や生け垣の設置を促進
- 延焼防止、採光・通風確保のため敷地の細分化や建て詰まりの防止に取り組む
- 建替えの際に雨水浸透ます等の設置を促進

4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち

道路+耐火建築物等で延焼を防止



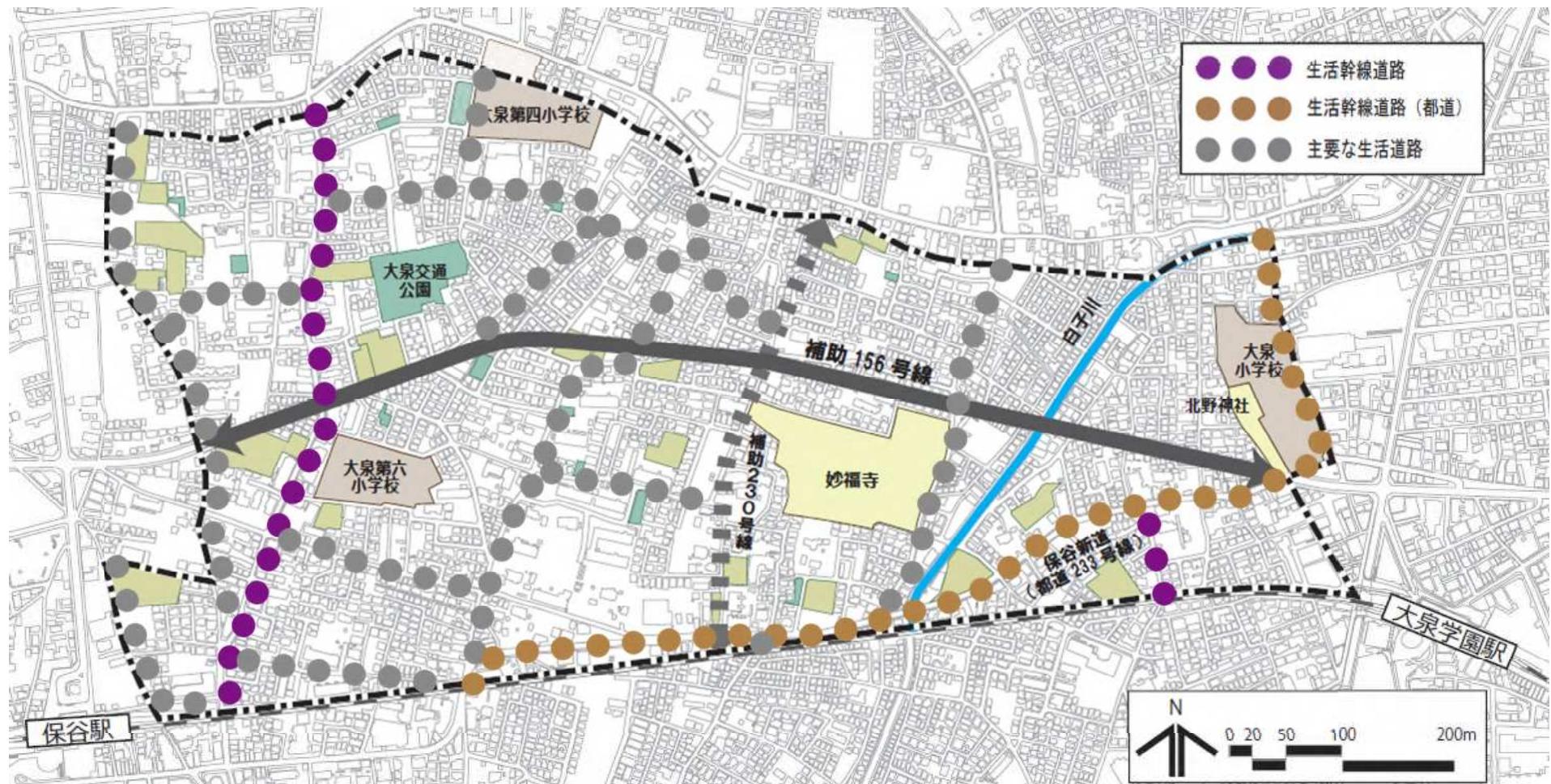
沿道建物の不燃化などによる延焼遮断のイメージ

4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち

- 補助156号線の沿道では、建物の不燃化により、延焼遮断機能の形成を図る
- 一定幅員の確保など**道路ネットワークの充実**を図る
- 危険な踏切付近の道路について早期改善に向けて拡幅整備に取り組む
- 地震発生時などに倒壊の危険がある高いブロック塀等を減らし、低い塀や生け垣の設置を促進
- 延焼防止、採光・通風確保のため敷地の細分化や建て詰まりの防止に取り組む
- 建替えの際に雨水浸透ます等の設置を促進

4 まちづくりの方針



4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち



一定幅員が確保された道路、隅切りのイメージ

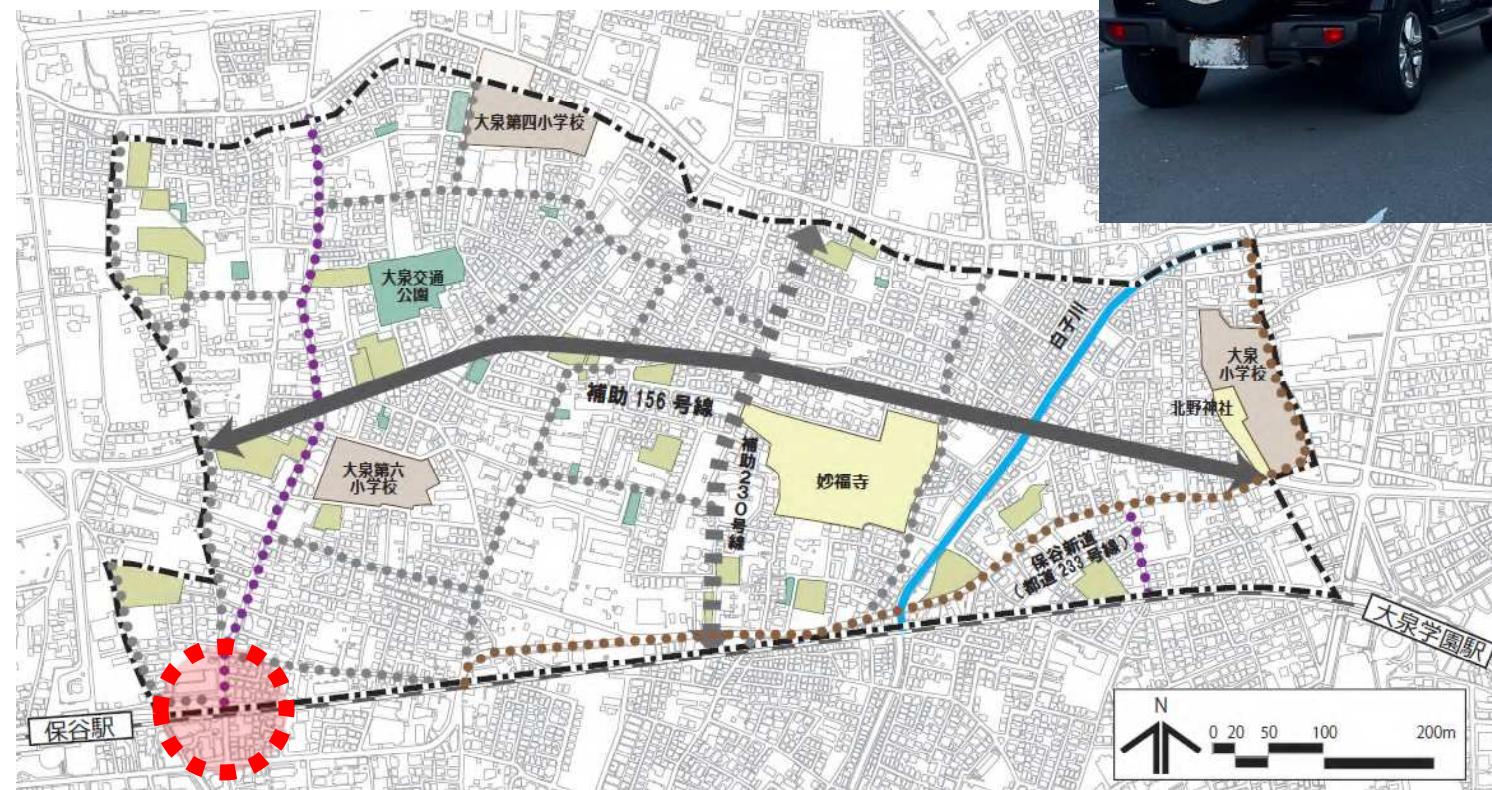
4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち

- 補助156号線の沿道では、建物の不燃化により、延焼遮断機能の形成を図る
- 一定幅員の確保など道路ネットワークの充実を図る
- 危険な踏切付近の道路について**早期改善に向けて拡幅整備**に取り組む
- 地震発生時などに倒壊の危険がある高いブロック塀等を減らし、低い塀や生け垣の設置を促進
- 延焼防止、採光・通風確保のため敷地の細分化や建て詰まりの防止に取り組む
- 建替えの際に雨水浸透ます等の設置を促進

4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち



踏切の現況

4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち

- 補助156号線の沿道では、建物の不燃化により、延焼遮断機能の形成を図る
- 一定幅員の確保など道路ネットワークの充実を図る
- 危険な踏切付近の道路について早期改善に向けて拡幅整備に取り組む
- 地震発生時などに倒壊の危険がある高い**ロック塀等を減らし、低い塀や生け垣の設置を促進**
- 延焼防止、採光・通風確保のため敷地の細分化や建て詰まりの防止に取り組む
- 建替えの際に雨水浸透ます等の設置を促進

4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち



ブロック塀のフェンス化・
生け垣化のイメージ

4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち

- 補助156号線の沿道では、建物の不燃化により、延焼遮断機能の形成を図る
- 一定幅員の確保など道路ネットワークの充実を図る
- 危険な踏切付近の道路について早期改善に向けて拡幅整備に取り組む
- 地震発生時などに倒壊の危険がある高いブロック塀等を減らし、低い塀や生け垣の設置を促進
- 延焼防止、採光・通風確保のため**敷地の細分化や建て詰まりの防止**に取り組む
- 建替えの際に雨水浸透ます等の設置を促進

4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち



**敷地面積60～80m²程度の
住宅地のイメージ**

**敷地面積100～120m²程度の
住宅地のイメージ**

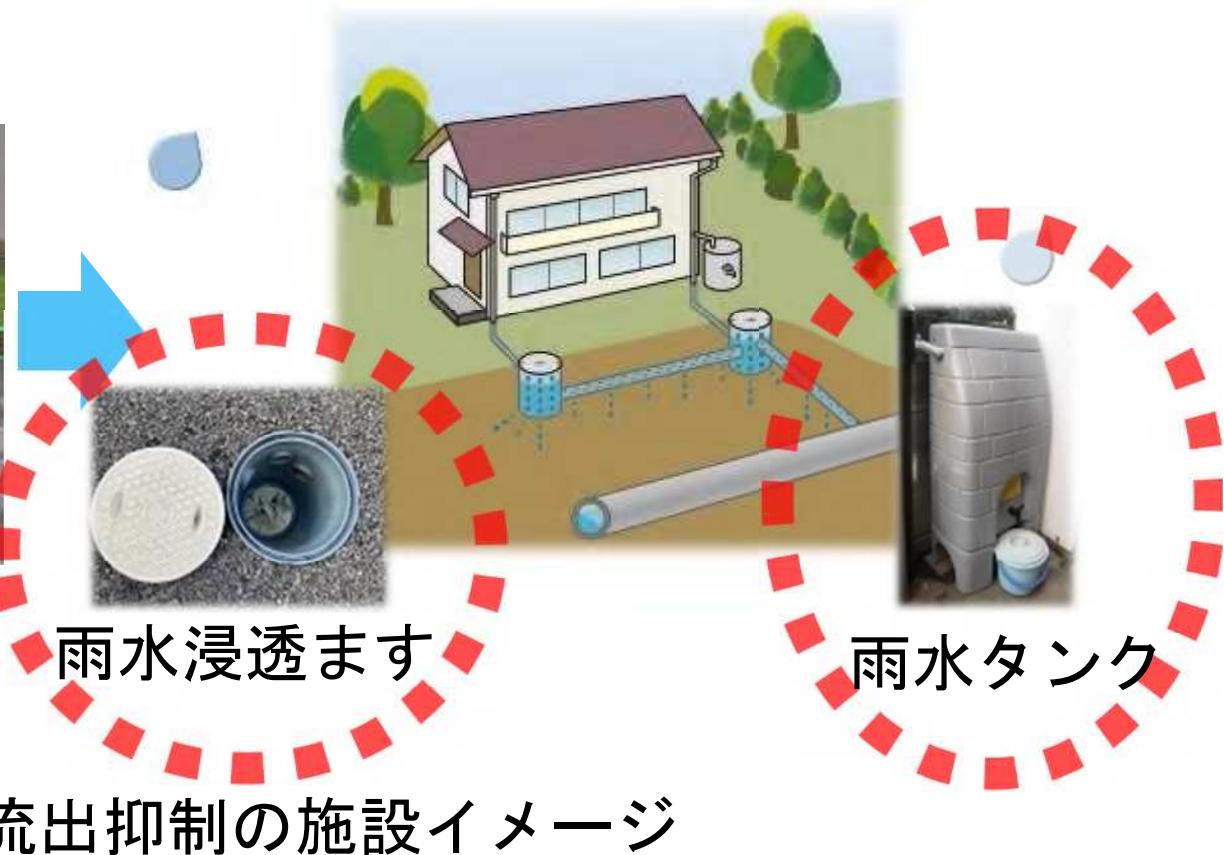
4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち

- 補助156号線の沿道では、建物の不燃化により、延焼遮断機能の形成を図る
- 一定幅員の確保など道路ネットワークの充実を図る
- 危険な踏切付近の道路について早期改善に向けて拡幅整備に取り組む
- 地震発生時などに倒壊の危険がある高いブロック塀等を減らし、低い塀や生け垣の設置を促進
- 延焼防止、採光・通風確保のため敷地の細分化や建て詰まりの防止に取り組む
- 建替えの際に雨水浸透ます等の設置を促進

4 まちづくりの方針

安全・安心で災害に強いまち

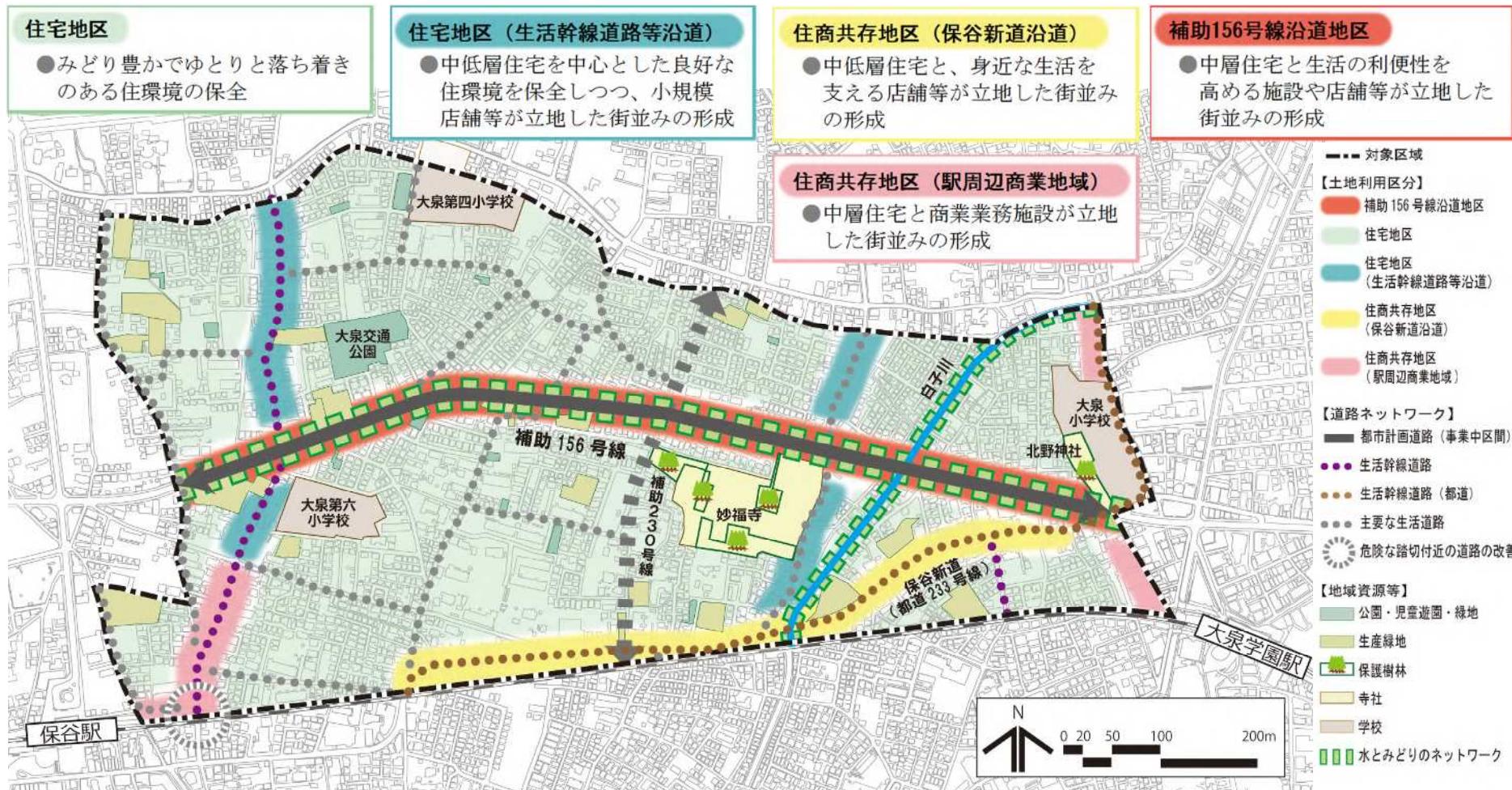


4 まちづくりの方針(まちづくり構想図)

地区全体に関する方針

- 主要な生活道路の整備促進
- 見通しの悪い交差点における隅切り確保
- 農地、樹林地、公園等の保全・活用、敷地内の緑化の促進

- 高いブロック塀等を減らし、低い塀や生け垣の設置を促進
- 敷地の細分化や建て詰まりの防止
- 雨水流出を抑制する施設（雨水浸透ます等）の設置を促進



5 まちづくりの実現に向けて

5 まちづくりの実現に向けて

重点地区まちづくり計画とまちづくりのルール

現在、策定を
目指している計画

重点地区まちづくり 計画

- まちづくり全体の方針
を定めるもの
- 権利者などへの新たな
制限は発生しない

今後、検討を
進めていくこと

地区計画

- まちづくり計画の内容を
実現するためのルール



5 まちづくりの実現に向けて

良好なまち並みづくりのルールの例

細分化を避けるため
最低敷地面積を定める

地域に望ましくない
建物の用途を制限する

建て詰まりを避けるため
隣地との空間を確保する

地域の特性に合わせた
建物の色彩や形態とする

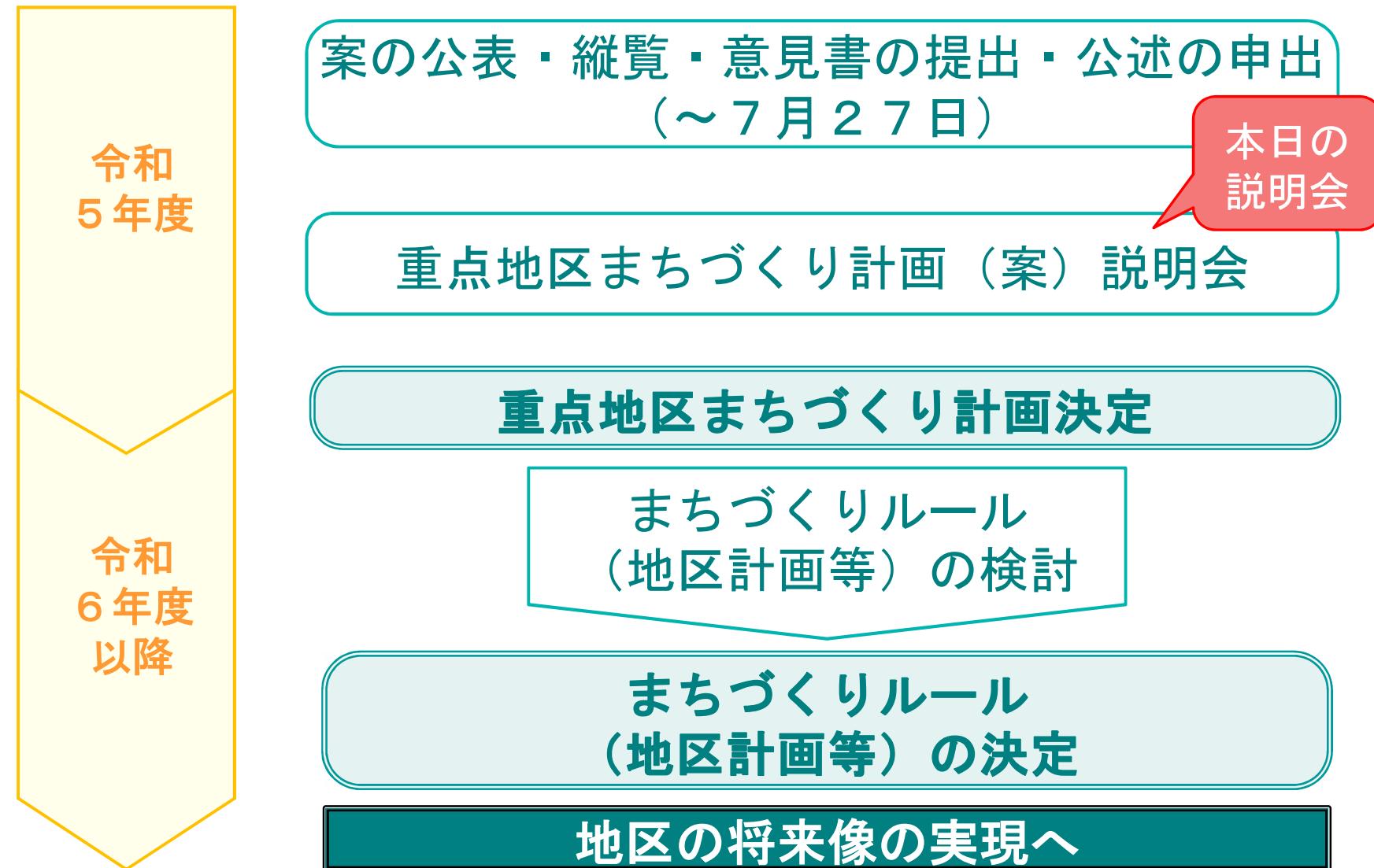
地域に必要な
道路をつくる

ブロック塀を避け
生け垣をつくる



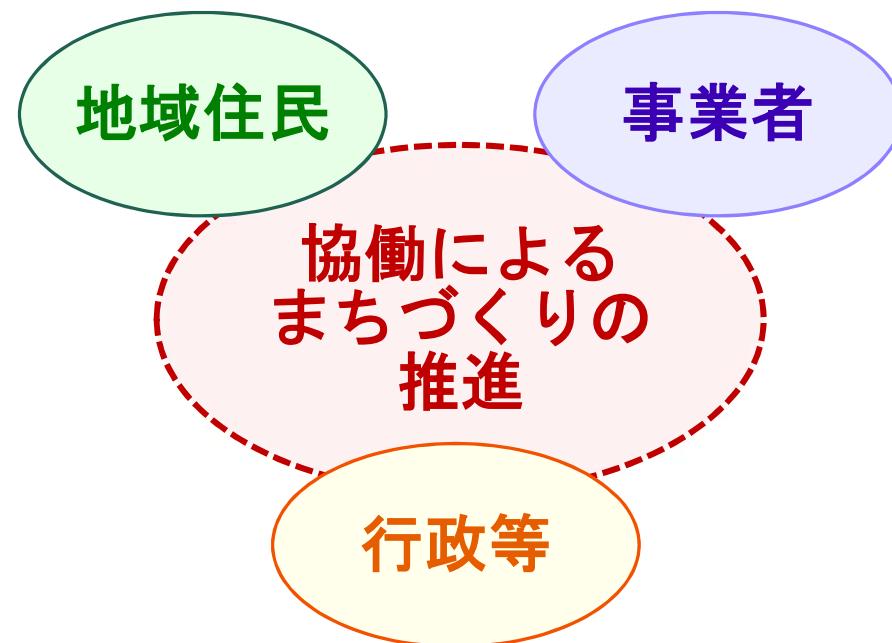
このルールは、新しく建物を建てるときや、今ある建物を建て替えるときに適用されるものであり、現在の建物をそのまま使用する場合には適用されません。

5 まちづくりの実現に向けて



5 まちづくりの実現に向けて

まちづくりの推進体制



重点地区まちづくり計画をもとに、地域の皆様の意見を伺いながら、まちづくりを進めていきます

5 まちづくりの実現に向けて

まちづくりの実現化手法

一定の良好な環境が整っている本地区では、
**良好なまち並み形成のための
ルールづくりと運用**
によってまちづくりを進めていきます。



ご清聴
ありがとうございました